

平成 29 年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

# 目 次

1. 矢口西小学校 P T A	2
2. 南六郷小学校 P T A	2
3. 西六郷小学校 P T A	3
4. 糀谷小学校 P T A	4
5. 新宿小学校 P T A	4
6. 入新井第一小学校 P T A	5
7. 千鳥小学校 P T A	6
8. 高畑小学校 P T A	6
9. 雪谷小学校 P T A	7
10. 相生小学校 P T A	8
11. 馬込第三小学校 P T A	8
12. 大森地区小学校 P T A 連絡協議会	9
13. 大森東中学校 P T A	10
14. 志茂田中学校 P T A	10
15. 相生サポートチーム	11
16. 都立矢口特別支援学校 P T A	11
17. NPO 法人ネットワーク Bear	12
18. ワクワクどろんこくらぶ	13
19. ♪おとのひろば	14
20. 子供の部屋学び実践の会	14
21. 子ども笑顔ミーティング実行委員会	15
22. 小規模保育園連絡会	16
23. わかあゆネット	17
24. アラフォーママ・ネットワーク大田 WARAIBA	17

# 1. 矢口西小学校PTA

子ども達の“決める力”を育もう 「お手伝いをさせる大切さ」

## <ねらい>

どうしたら“自立できる子ども”を育てられるか。様々な苦労や困難を自分で乗り越えられる「生きる力」「決める力」を育むことをテーマに、子どもがその力をつけるための、私達の身近なところでの“取組み”について学ぶ。

## <実施内容>

学習会では、困難を自分で乗り越えられる「決める力」を身につけるために、お手伝いをさせる大切さを学びました。また、どのようなお手伝いをさせればよいのか、私たちにできる取組みについても取り上げました。

矢口西小学校では、長期休みには「お手伝い大作戦」として、子どもたちの家庭でのお手伝いを促す取組みを行っています。PTAとして講座で学んだことを、各家庭で実践的に取り組む機会を設けています。

## <参加者の感想>

- ・昨年とは違った切り口で、お手伝いについて学ぶことができました。
- ・お手伝いについての講師の講演を、来年も続けてほしいです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	5月20日（土） 14:40～15:40	「子ども達の“決める力”を育もう 『お手伝いをさせる大切さ』 講師 三谷 宏治(K.I.T 虎ノ門大学院 教授、早稲田大学ビジネススクール・女子栄養大学客員教授)
	矢口西小学校 体育館	参加者数 90名 (内訳) 会員 85名 ・ 会員以外 5名

# 2. 南六郷小学校PTA

学校と一緒に子どもを育てる ～学校に言いたいことがある時～

## <ねらい>

学校への対応を振り返るとともに、学校との関係を考え直す機会とする。学校と保護者が協力し合う教育環境づくりを学ぶ。

## <実施内容>

講演会では、学校と保護者との関係について考え、お互いに協力し合い、より良い教育環境をつくることを学びました。

また学校との関わりだけでなく、親子や家族などの信頼関係を築くための方法、意見の伝え方など、参加者同士の話し合いを交えながら考えることができました。

## <参加者の感想>

- ・講演会で学んだ子どもとの接し方を、日常生活の中でも活かしたいです。
- ・参加者同士話し合う場もあり、気持ちの切り替えができました。
- ・夜の学習会なので、保護者が参加しやすかったです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	10月27日（金） 19:00～20:30	「学校と一緒に子どもを育てる ～学校に言いたいことがある時～」 講師 藤崎 雄三（プロフェッショナルコーチ）
	南六郷小学校 図書室	参加者数 25名（内訳）会員 12名・会員以外 13名

## 3. 西六郷小学校PTA

家族で元気 足から健康になろう！！～お家でできる簡単足裏マッサージ～

### <ねらい>

子どもの運動不足や不規則な生活、食生活の乱れは、身体の不調の原因になると言われている。それを改善し、家族で元気に過ごせるようにすることを目標に、足裏マッサージについて学ぶ。

### <実施内容>

講演会では、家族で元気に過ごせるよう、身体の不調を改善する方法の一つとして、足裏マッサージについて学びました。

身体の仕組みについて学ぶとともに、参加者同士でマッサージし合う時間もありました。自宅でも、親子でコミュニケーションを図りながら実践できる内容でした。

### <参加者の感想>

- ・簡単にできる健康法なので、自宅でも実践し、子どもと触れ合う時間をもつきっかけにしたいです。
- ・マッサージし合うと会話が弾むことがわかったので、自宅で子どもや家族にやってみたいです。
- ・今日をきっかけに、子どもの身体の様子や、体調の変化を意識しようと思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月18日（土） 10:00～12:00	「家族で元気 足から健康になろう！！～お家でできる簡単足裏マッサージ～」 講師 国広 公尊（国際整体リフレクソロジースクール学院長）
	西六郷小学校 図書室	参加者数 37名（内訳）会員 30名・会員以外 7名

## 4. 糀谷小学校PTA

自己中心性を乗り越えて、思いやりの心を育てるには ～自分も相手も大事にできる子に～

### <ねらい>

現在の社会状況を考え、青少年の問題行動の背景として、家庭教育が重要であることを学ぶ。保護者と地域の方々が家庭教育のあり方や心構えについて学び向上することによって、子育てに関わる多くの方が継続的に学ぶ意志を持ち、より良い教育の成果が上がることをねらいとする。

### <実施内容>

講演会では、子どもの思いやりの心を育てるために、家庭での子どもとの関わり方が重要であることを学びました。

子どもの自尊感情を潰さないような声掛けを早速家庭で実践しようと、参加者が気持ちを切り替えることのできる機会となりました。

### <参加者の感想>

- ・親が子どもに伝えられることがたくさんあるとわかりました。今までできなかった思いやりの心に気づかせることを意識したいです。
- ・自分の親としての今までの態度を見直さないといけないと反省しました。早速家で子どもとの触れ合いを変えてみようと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月18日(土) 10:00~12:00	「自己中心性を乗り越えて 思いやりの心を育てるには ～自分も相手も大事にできる子に～」 講師 田島 身衣子(NPO 法人大田家庭教育研究所所長)
	糀谷小学校 体育館	参加者数 121名 (内訳) 会員 121名・会員以外 0名

## 5. 新宿小学校PTA

ポジティブディシプリン講座 ～頑張り過ぎない前向きな子育て～

### <ねらい>

子育てを頑張りすぎている方のために、子育てストレスを解消して、楽な気持ちで子育てに向かう方法を考えることを目的とする。

### <実施内容>

学習会では、肩の力を抜いて子育てに臨む方法を、ワークショップを通して参加者同士で考えました。長期的な目標を立てて子どものちからを伸ばすというポジティブディシプリンの考え方から、子どもと一緒に課題解決に導く方法を学びました。

## <参加者の感想>

- ・子どもに関する悩みや課題に対して、前向きに子育てに向かう方法を学びました。日々の子どもとの触れ合いに活かしていきたいです。
- ・参加者との話し合いの中で、日々の子育てを見直すことができました。講座の中で考えた子どもに対する長期的な目標を思い出し、子どもと向き合っていきたいです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月18日（土） 10:00～12:00	「ポジティブディシプリン講座 ～頑張り過ぎない前向きな子育て～」 講師 落合 香代子(子育て支援団体「ママリングス」代表、看護師)
	新宿小学校 家庭科室	参加者数 27名 (内訳) 会員 26名・会員以外 1名

## 6. 入新井第一小学校PTA

グローバル社会で生きる子育て論

### <ねらい>

グローバル社会の進展の中で、英語力の向上がますます求められるこれからの社会。子どもとともに考える英語教育とは何か。子どもの将来的な可能性を広げるための英語教育について、考えるきっかけとする。

### <実施内容>

子ども自身で好きなことや将来の夢を見つけることが、子どもの将来の可能性を広げることを、講師の英語との出会いや通訳経験のお話から学びました。

保護者が子どもに対してできることは、親の考えの押し付けではなく、子どもが好きなことと出会うサポートをすることだと気づく内容でした。

### <参加者の感想>

- ・英語に限らず、子どもが好きなものを見つけて成長していくことを見守りたいと思いました。
- ・子どもに対してのコミュニケーションを見つめ直す機会になりました。
- ・英語に限らず、コミュニケーションにおいて大切なことを学びました。言葉の選び方や場の空気など、子どもと接する際に心掛けようと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月9日（土） 10:00～12:00	「グローバル社会で生きる子育て論」 講師 小島 克典(一般社団法人スポーツカルチャーラボ代表理事)
	入新井第一小学校 体育館	参加者数 85名 (内訳) 会員 39名・会員以外 46名

## 7. 千鳥小学校PTA

マインドフルネスを体験してみよう

### <ねらい>

子どもと向き合いつつ、仕事や地域での人間関係、家族内での人間関係など、多岐にわたる人との関係に日々奮闘する方々のために開催し、悩みや解決策、ストレス軽減法について考える。

### <実施内容>

講座では、子どもとの向き合い方や、家族内での人間関係のストレスを軽減する方法の一つとして、マインドフルネスについて学びました。

マインドフルネスとは、今この瞬間に、能動的な意識を向けることを言います。身体に意識を向ける「ボディスキャン」、音に意識を集中する「シンキングボウル」等、マインドフルネスを実際に体験しました。

自分の身体や気持ちと向き合い、楽な気持ちで子育てや日々の生活を送るヒントをもらえる講座となりました。

### <参加者の感想>

- ・心を落ち着かせる時間をもつことで、日頃の子育ての悩みについて、自分の中で整理することができました。
- ・マインドフルネスを通して、子どもとの向き合い方に対する気持ちの切り替えができました。自宅でも実践したいです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	1月27日（土） 10:00～12:00	講演「マインドフルネスを体験してみよう」 講師 下平 美智代（看護師、心理学博士）
	千鳥小学校 図書室	参加者数 41名 （内訳） 会員 30名 ・ 会員以外 11名

## 8. 高畑小学校PTA

お父さんとお母さんの為の勇気づけの子育て ～アドラー心理学から学ぶ～

### <ねらい>

高畑小学校のスクールカウンセラーである講師から、日々楽しみ、喜び、悩み、葛藤しながら子育てをしているお父さん、お母さんご自身の勇気づけについて学ぶ。普段の子育てについて、いつもと違う視点で肩の力を抜いて楽しく考えることをねらいとする。

### <実施内容>

学習会では、アドラー心理学の考えから子育てのヒントを学びました。アドラー心理学では、「勇気づけ」と「共感」を重要なテーマとしています。子どもを勇気づける声掛けや、子どもに共感する手がかりを探す聞き方を、グループワークを通して考え合いました。

## <参加者の感想>

- ・学習会では、具体的な子育てのヒントや言葉を得ることができました。学習会の中で考えた勇気づけの声掛けを思い出し、子どもと向き合っていきたいです。
- ・参加者との話し合いの中で、育児の悩みを相談することもでき、保護者自身の勇気づけにもなりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月3日（土） 10:00～12:00	「お父さんとお母さんの為の勇気づけの子育て～アドラー心理学から学ぶ～」 講師 永嶋 敦子（高畑小学校スクールカウンセラー）
	高畑小学校会議室	参加者数 33 名（内訳） 会員 33 名・会員以外 0 名

## 9. 雪谷小学校PTA

知って試そう！コミュニケーションのコツ

### <ねらい>

子どもたちの日々の成長に合わせたコミュニケーションを図り、意図が伝わるように話す方法を学ぶ。

### <実施内容>

学習会では、説得を受け入れるきっかけや、判断のしかた、活動に影響を与えるプロセスなどから、相手に伝えやすいコミュニケーションの図り方を学びました。

日々の子どもとの関わり方を見直すきっかけとなる学習会になりました。

### <参加者の感想>

- ・子どもが受け取りやすい言葉を理解し、それを子どもとの会話の中で使い分けてみようと思います。
- ・子どもに話が伝わらなかったときは、他の伝え方もあることを思い出し、試してみようと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月16日（金） 14:30～16:30	「知って試そう！コミュニケーションのコツ」 講師 藤崎 雄三（人事・コミュニケーション・コンサルタント）
	雪谷小学校 多目的室	参加者数 11 名（内訳） 会員 10 名・会員以外 1 名

## 10. 相生小学校 P T A

CAP ～子どもへの暴力防止講座～

### <ねらい>

CAP は、Child(子ども)、Assault(暴力)、Prevention(防止)の略で、「子どもへの暴力防止プログラム」のこと。子どもたちをあらゆる暴力から守るために、周囲にいる親や地域の大人に何ができるのかを学ぶ。

### <実施内容>

学習会では、子どもへの暴力防止について、子どもの周りには大人たちは何ができるかを考えました。ワークショップを通して、自分の感情で子どもの話を聞くのではなく、落ち着いて子どもの気持ちに寄り添って聴くことが大切だと学びました。

### <参加者の感想>

- ・子どもがいやだと思ってくれたときには、「話してくれてありがとう」「悪いのはあなたではない」という言葉を伝えようと思いました。
- ・困ったことがあったときは、断る、「いや」と言う、逃げる、誰かに話すといった対応をすることを、自宅で子どもに伝えようと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月16日(金) 14:00～16:00	「CAP～子どもへの暴力防止講座～」 講師 NPO 法人 青い空
	相生小学校 多目的室	参加者数 35 名 (内訳) 会員 30 名・会員以外 5 名

## 11. 馬込第三小学校 P T A

子供の発達とほめ方～5つのステージ～

### <ねらい>

「心理・発達・教育」の専門家を講師に招き、学校と家庭が力を合わせて児童の健全な成長を支えていけるよう、子どもの発達段階に応じたほめ方について学ぶ。

### <実施内容>

子どものやる気を育てる方法の一つとして、「ほめる」ことをテーマに講演会を行いました。子どもの発達段階に応じたほめ方を、5つのステージに分けて学びました。子どもとの関わり方や心の発達について見つめ直すきっかけになる講演会でした。

## <参加者の感想>

- ・各ステージでどの程度ほめ方を実践できているか、振り返ることができました。講演会で学んだほめ方を、自宅でも実践したいです。
- ・子どもの行動をほめるためには、子どもをよく見て気づくことが大切だと思いました。子どもと接する時間を多く持つことを、心掛けていきたいです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月 26 日（月） 13:00～15:00	「子供の発達とほめ方～5つのステージ～」 講師 発田 憲（教育デザイン代表 研究統括官）
	馬込第三小学校 会議室	参加者数 22 名 （内訳） 会員 20 名 ・ 会員以外 2 名

## 12. 大森地区小学校PTA連絡協議会

「家庭教育」と「自己肯定感」を育む

### <ねらい>

これからの時代を自信と意欲をもって生きていくために、子どもたちにとって何が必要なのかを考えることをねらいとする。

### <実施内容>

自己肯定感を育む方法の一つとして、「肯定的な声かけ」があります。子ども自身が周りの人の役に立っているという認識が、自己肯定感を育むことにつながることを学びました。

### <参加者の感想>

- ・保護者が「ありがとう」「よく～したね」といった言葉を子どもに伝えることで、子どもは自分の行動の成果を認識できるのだとわかりました。
- ・まず、親の自己肯定感を高めることが大事だということに気づきました。自分も自信がもてるよう、子どもも子どもの人生の主人公として生きていけるようサポートしていきたいと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月 24 日（土） 14:00～16:00	「『家庭教育』と『自己肯定感』を育む」 講師 長沼 豊（学習院大学文学部教育学科教授）
	入新井集会室	参加者数 52 名 （内訳） 会員 49 名 ・ 会員以外 3 名

## 13. 大森東中学校 P T A

多様な子どもたちとどう向き合うか？～多感な中学生にスポットをあてて～

### <ねらい>

自閉症をはじめ発達障がいのある子どもたちに対する特別支援教育、指導は難しく、周囲の親や子どもたちの理解も課題である。学校や家庭での具体的な支援のあり方や今後の共生社会について、考える機会とする。

### <実施内容>

講演会では、障がいのある子どもたちに対する支援のあり方や今後の共生社会について学びました。子どもの個性を受け入れ、大切に、子どもと一緒に成長していこうと、気持ちを切り替える機会となりました。

### <参加者の感想>

- ・子どもと正面から向き合い、子どもの個性や、他の子どもとの違いを認めることが大切だとわかりました。大人がまず偏見を捨てていかなければならないと思いました。
- ・子どもとの接し方で大事なことは、子どもに対する理解であると学びました。親をはじめ、周囲が一緒に寄り添う姿勢をもつことにより、障がいのあるなしに関わらず共に支え合う社会になれば良いと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月24日（金） 18:00～19:30	「多様な子どもたちとどう向き合うか？～多感な中学生にスポットをあてて～」 講師 石橋 恵二（武蔵野東中学校 校長）
	大森東中学校 会議室	参加者数 33 名 （内訳） 会員 6 名 ・ 会員以外 27 名

## 14. 志茂田中学校 P T A

中学生。将来に向けて、今、大切なこと～

### <ねらい>

日々の中学校生活、受験、進学、そしてその先へと、様々な将来を見据え、子どもたちが必要になる力は何かを学ぶ機会とする。また、子どもたちの生きる力を育むために、大人たちはどのように関わっていけば良いか考えることをねらいとする。

### <実施内容>

講演会では、子どもたちが必要になる力や大人の関わり方について、志茂田中学校スクールカウンセラーである講師のお話から学びました。

事前にお寄せいただいた保護者の質問に講師が応える時間もあり、参加者が講師からアドバイスを受けることで、楽な気持ちで子育てができるきっかけとなる講演会でした。

### <参加者の感想>

- ・日常生活の中での具体的なお話が聞けたので、自宅で子どもと接するときに活かしたいです。
- ・スクールカウンセラーのお話が聞きたかったため参加しました。子育てのヒントを多く得ることができました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月25日(土) 15:30～17:30	「中学生。将来に向けて、今、大切なこと」 講師 廣瀬 信慶(臨床心理士、志茂田中学校スクールカウンセラー)
	志茂田中学校 地域集会室	参加者数 40名 (内訳) 会員 35名・会員以外 5名

## 15. 相生サポートチーム

発想力・決める力の鍛え方 ～AIなんかに負けないぞ～

### <ねらい>

現在、人工知能(AI)やロボット開発が進んでいる。それらと共存しながらも、将来子どもたちが本当に必要となる力とはなにか、どのようにその力を鍛えるのかを学ぶ。

### <実施内容>

講演会では、将来子どもたちに必要な力について、講師のお話やグループワークから考えました。

子どもの発想力、決断力を鍛えていくことの重要性と、それを鍛える方法を、講師自身の子育て経験や、世界と日本との比較、様々な企業の成功事例などから学びました。

### <参加者の感想>

- ・親が子どもに手をかけすぎていたと感じました。自己選択、自己決定の大切さを学びました。
- ・「諦めずに何度も繰り返すことから発想力が生まれる」という言葉が響きました。
- ・あまり子どもを褒めていなかったと反省しました。自宅で子どもと接するときに意識したいと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月8日(水) 14:30～16:30	「発想力・決める力の鍛え方～AIなんかに負けないぞ～」 講師 三谷 宏治(K.I.T.虎ノ門大学院主任教授)
	相生小学校 体育館	参加者数 163名 (内訳) 会員 150名・会員以外 13名

## 16. 矢口特別支援学校PTA

子供の手指と脳の発達のための学習会～カードケースを作ろう～

### <ねらい>

手指を動かすことは、脳の活性化につながると言われている。手指と脳の発達について学ぶとともに、障がいのある子どもも安心して作れるクラフトを体験する。

## <実施内容>

前半は、多くの神経が通い、様々な部位とつながっている「手」についての学習会でした。手を育てるためには、感覚の機能を理解して様々な素材に触れることや、身体をたくさん動かして手指の働きの土台を育むことが大切だと学びました。

後半は、前半で学んだ手の役割や機能について意識しながら、簡単なカードケース作りを行いました。自宅でも、親子で実践できる講座内容でした。

## <参加者の感想>

- ・子どもが手指を使うことが苦手なので、学習会に参加しました。カードケース作りは、針と糸を使わず簡単にできるので、自宅で子どもと一緒に作りたと思います。
- ・手の機能の大切さを学習したうえで、実際に手指を使った作品作りを体験できました。学んだことをすぐに実践できる講座で、楽しく学ぶことができました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月14日（木） 10:00～12:00	「子供の手指と脳の発達のための学習会～カードケースを作ろう～」 講師 飯干 真（東京都立矢口特別支援学校 教員） 堀口 ようこ（デザイナー）
	都立矢口特別支援学校 第2音楽室	参加者数 20名（内訳）会員 20名・会員以外 0名

## 17. NPO 法人ネットワーク Bear

子どもの課題への関わり方 ～子育てを楽しく～

### <ねらい>

言葉が遅い、発達が遅い気がする、「イヤ！イヤ！」がひどいなど、子育てには悩みが付きにくい。子どもは自ら育とうとする力をいっぱい持っている。子育てとは、この子どものパワー「育とうとする力」のサインに丁寧に関わり、手を添えて、お手伝いしていくこと。子どもの成長は、脳の発達と深く関わっているため子どもの脳の発達を知り、子どもの課題、個性について考えあい、子育てを楽しいものに変えていく必要がある。

### <実施内容>

学習会では、子どもの育ちと脳の発達との関係を学びました。保育園に勤務していた講師の実体験に基づいた具体的な事例を交えてのお話は、帰宅後すぐに実践できることを参加者に感じさせるものでした。

さらに、参加者の子育ての悩みを共有し、講師からアドバイスを受けることで、肩の力を抜いて、楽しい気持ちで子育てができるヒントをもらえる学習会となりました。

### <参加者の感想>

- ・子どもをよく見つめることが大切だとわかった。
- ・子育てに対する気持ちの転換ができた。
- ・子どもがいきいきと生きていける社会に向け、行動したいと思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月9日(金) 10:00～12:00	「子どもの育ち」 講師 佐藤佳代子(子育て子育てコーディネーター)
	障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ	参加者数 14名 (内訳) 会員 7名・会員以外 7名
2	6月16日(金) 10:00～12:00	「子どもへの関わり方」 講師 佐藤佳代子(子育て子育てコーディネーター)
	障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ	参加者数 16名 (内訳) 会員 9名・会員以外 7名

## 18. ワクワクどろんこくらぶ

脳のしくみを知って楽しい子育てに！！～「あそび」が子どもを育てるって、ほんと？～

### <ねらい>

子どもの成長には「あそび」は欠かせない。「あそび」を通じて心や身体が成長し、社会性(友だちとの関わり)も身につける。

そこで、子どもの成長にとってどんな「あそび」が大切かを、脳の発達をふまえて学ぶ。

### <実施内容>

講師の紹介する数多くの身近な事例をふまえて、子どもの育ちと脳の発達について学びました。

講師は「あそび」を通じて子どもの心と身体が成長し、社会性も身につけていくということで「あそび」の大切さを話されました。

### <参加者の感想>

- ・もっと子どもと遊びたくなった
- ・具体的な事例があって心に響いた
- ・自分の子育ての参考になった

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	7月2日(日) 14:00～16:00	「脳のしくみ 基礎編」 講師 佐藤佳代子(子どもの文化学校・子育て子育てコーディネーター)
	池上会館 第三会議室	参加者数 35名 (内訳) 会員 12名・会員以外 23名
2	7月9日(日) 14:00～16:00	「子どもの脳が育つ『あそび』」 講師 佐藤佳代子(子どもの文化学校・子育て子育てコーディネーター)
	池上会館 視聴覚室	参加者数 30名 (内訳) 会員 10名・会員以外 20名

## 19. 発達に遅れのある子どもたちのための会♪おとのひろば

思春期・青年期における発達障がい児の自尊感情を育てよう

### <ねらい>

発達障がいを持つ子ども達が日常生活で抱える社会性の困り感に寄り添い、将来に役立つスキルを学ぶ。思春期をテーマに、専門家から事例を挙げてお話を頂く。子どもを取り巻く大人が手立てを共有し、ネットワークをつくることで、子どもたちの将来に繋げていく。

### <実施内容>

保護者の方、教育関係者、療育関係者など、障がい児を取り巻く大人たち延 200 人余りの参加があり、障がい児との接し方を学ぶ場が求められていることがわかりました。本講座では、本人が社会で生きていくためのスキルの具体的例を多く提示されたため、今後子どもの成長に伴い、どのように接していけばいいのか、多くのヒントを見つけることができました。

### <参加者の感想>

- ・将来の不安がたくさんありますが、色々なアイデア、ヒントが詰まった内容で気持ちが明るくなりました
- ・事例をたくさんいただいき、わかりやすく、家庭でもすぐに練習できそうだと思います。
- ・障がい児の就労は難しいと聞きました。教育関係者の立場として社会で生きていくためのスキルを身につけるサポートをしていきたいと思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月8日(金) 10:00~12:00	講演「思春期～青年期における発達障がい児の特徴と関わり方」 講師 平岩 幹男(小児科医)
	区民センターアプリコ 展示室	参加者数 102 名 (内訳) 会員 4 名・会員以外 98 名
2	10月24日(火) 9:45~11:45	講演「思春期～青年期における発達障がい児のためのライフスキルトレーニング」 講師 平岩 幹男(小児科医)
	消費者生活センター 大集会室	参加者数 102 名 (内訳) 会員 4 名・会員以外 98 名

## 20. 子供の部屋学び実践の会

健やかな育ちのために～自然流子育ての知恵～

### <ねらい>

少子化、各課時億の現状がある中、地域の財産として子どもをとりまく大人が知恵を共有し、子ども達の健やかな育ちを支える必要がある。

地域の大人が賢く、子ども達の生活環境、生活リズムや食育を再確認し、自然に即したくらしと子育て、日々の食を通じて、生活の場を再点検しながら、新たな知恵と一緒に増やしていく。

## ＜実施内容＞

学習会は、人間が本来もっている自然治癒力を高めることの大切さを中心とした内容でした。

また、病気になった時の具体的な対応の例示もありました。日常から、食事の見直し、心身の疲労解消などで病気になった時の自然治癒力を高めることができます。子どもの健康維持に関する情報を得ることができました。

## ＜参加者の感想＞

- ・わかりやすいお話で質問にも丁寧に話していただけたので参考になった。
- ・子どもの自然治癒力を高めるための具体例が多く、家庭ですぐに活かせる内容でした。

	日時・会場	内容・講師等
1	11月11日（土） 13:00～15:00	「健やかな育ちのために～自然流子育ての知恵～」 講師 高野 弘之（小児科・内科医 豊受クリニック院長）
	子供の部屋保育園	参加者数 27名（内訳） 会員 5名・会員以外 22名

## 21. 子ども笑顔ミーティング実行委員会

こどもにやさしいまちづくり ～子どものいのちを真ん中に～

### ＜ねらい＞

子どもに寄り添いながら、活動を重ねている現場の声・話をうかがう。「子どもの生きる権利」に寄り添った地域づくりの一步を踏み出すきっかけを見つけ、動く必要がある。

### ＜実施内容＞

不登校、いじめ、自殺等子どもを取りまく社会問題について、大人がどのように取り組んでいくかの内容でした。その一つとして、子どもが自由に遊ぶことができる川崎市子ども夢パークの取り組みについてお話がありました。子どもたちが、やりたいことにチャレンジして失敗を繰り返し、成功にたどり着いたとき自信をつけることができます。それを支える大人たちの役割の大切さを学びました。

### ＜参加者の感想＞

- ・子どもたちのために大人が変わらないといけないと思いました。
- ・失敗を恐れる世の中になりつつあるが、失敗から学ぶこともあるため、子どもたちのやってみたいを大切にしたいと思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	1月28日（日） 13:30～17:00	<p>【第1部】 どの子どもにも”居場所”を！～子ども夢パークのめざすもの～ 講師 西野 博之（精神保健福祉士、川崎市子ども夢パーク所長）</p> <p>【第2部】 パネルディスカッション「大田区の子どもは今？”子どものいのちを真ん中”にした地域作りとは」</p> <p>パネリスト 土田 妙子（子供の部屋保育園園長） 小白木 聡（理想アテンダントサービス理事） 武藤 溪一（元スクールソーシャルワーカー）</p> <p>ファシリテーター 西野 博之</p>
	池上会館 大集会室	参加者数 135名（内訳） 会員 15名・会員以外 120名

## 22. 小規模保育園連絡会

肩の力が抜ける「〇〇しない」子育て ～子どもにとって「本当にいい」とは～

### <ねらい>

子育ての情報が多すぎて、逆に何をしてもよいか悩んでしまうが、子どもはちゃんと成長する力を持っていることに気がつく、子育てが楽しくなる。

”子どもにすべてを教えない”、”しつけ”という言葉に惑わされない”など、大人が手をかけすぎなくてもよいことを学ぶ。

### <実施内容>

前半は、子どもは大人が手をかけすぎなくても成長する力をもっている、口を挟まない、手を出さない、正解を出さないなど、子どもが考え挑戦する機会を与えることが大切という内容でした。

後半は、グループワークで自分のしつけ方法、自分がされたしつけ方法などをテーマに話し合い、いろいろな家庭の事例を報告し合いました。

### <参加者の感想>

- ・子どもの可能性や世界を広げるのも狭めるのも、周りにいる大人や環境によるものだと再認識した。
- ・具体的な事例を踏まえたお話を聴くことができ、本を読むのとはちがった納得感がありました。
- ・託児付なので、安心して学ぶことができた。

	日時・会場	内容・講師等
1	2月3日（土） 9:30～12:00	<p>「肩の力が抜ける『〇〇しない』子育て～子どもにとって『本当にいい』とは～」 講師 小笠原 舞（合同会社 こどもみらい探求社共同代表）</p>
	入新井集会室	参加者数 35名（内訳） 会員 14名・会員以外 21名

## 23. わかあゆネット

新しい関係の作り方 ～子どもとより良くつきあう方法～

### <ねらい>

「ゲームや動画に熱中しすぎる。我が子の将来が心配で」「子どもと上手にコミュニケーションが取れない」など、心配なことに関して、ゲームクリエイターである講師から解決のヒントを探す。

### <実施内容>

子どもとの良い関係を作る方法について、講義とグループワークを交えて考え合いました。大切なことは、子どもが興味のあることに興味を持ち、そのことについて親が受け止め、コミュニケーションを取り距離を縮めることです。

距離が縮まることで子どもと親の信頼関係が生まれ親子の関係性が上手くいくという内容でした。

### <参加者の感想>

- ・子育てに関して別の視点に気がつくことができた。
- ・子どもと時間を共有することが、信頼関係を気づく上で大切だと思った。
- ・ワークショップもあったおかげで学習会の内容を理解しやすかった

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月10日（土） 14:00～16:00	「好きな事は将来に繋がる？ 『新しい関係の作り方』～子どもとより良く付き合う方法～」 講師 山本 貴光(ゲーム作家 文筆家)
	大田区消費生活センター 第五集会室	参加者数 44名 (内訳) 会員 6名 ・ 会員以外 38名

## 24. アラフォーママ・ネットワーク大田 WARAIWA

アラフォーママよ 本音を語ろう！ ちょっとだけ肩の力を抜いて自分と向き合いませんか！

### <ねらい>

高齢出産は、もはや少数ではない。そんな中でも若いママの輪に入りづらい、高齢出産はマイナスなことが多いと思われている。数多くの方からのご相談を経験された講師と、少しでも気軽に妻とママとして過ごすために大切なことを考える。

### <実施内容>

男女は違うし、育った環境によって「あたりまえ」が違うと理解することが結婚生活では大切であることを学びました。また、夫婦の関係が子育てに強く影響するとのことで、アラフォーママの悩みは多いけど、自分のご機嫌は自分で管理しながら子育てをすることをグループで話し合いながら考えました。

## <参加者の感想>

- ・自分の機嫌をよくするワークショップが参考になった。
- ・子育てに追われる中、気持ちの持ちようが変わりました。

	日時・会場	内容・講師等
1	3月2日（金） 10:00～11:45	「アラフォーママよ、本音で語ろう！～ちょっとだけ肩の力を抜いて自分と向き合いませんか？」 講師 棚橋 美枝子(結婚教育研究家)
	消費生活センター 第五集会室	参加者数 26名（内訳） 会員 6名・会員以外 20名